



同棲中の彼女がヤリサーの男に寝取られた件
尾崎夕夏 ~サンプル版~

もしかして
緊張してるの？

う、うん。だって
久しぶりだからさ。

啓太君、仕事で
忙しかったものね。

そんなのいいから、
ほら、早くしてよ。

うん、いめん。

めさじ。うん。うん。



夕夏は？ 大学生活は楽しい？

う、うん。私も
そこそこって
感じかな。。。。

何か嫌なことでもあった？
今日もちよっと変だったけど

べ、別に、
なににも。。。。





え？

そこにあっただのは、夕夏の靴。
そして、見知らぬ男物のシューズだった。

一瞬そこにあるモノがなんなのか、
その意味をまったく考えることができなかつた。
だが現実が変わるわけもない。僕は呆然としてしまっていた。

それじゃあいただきますーすー!

まっアー!!
せめてゴム!

夕夏の秘所に、男の勃起した
ペニスがあてがわれる。

夕夏は必死で抵抗を試みるも、男に手足を固定され身動きが取れずにいる。
そしてその瞬間は非情にも訪れた――。





いやあああああっ！

ヌプッ

夕夏に挿入した男は、夕夏の抵抗などお構いなしに腰を振り始めた。

おおっ！ 思いのほか
締めいいじゃん！

男は夕夏をベッドに押し倒し、
露になった胸を揉みしだいていた。

あん時は最高だったなあ。
夕夏が中出しされて
わんわん泣いててさ。

こゝんなの犯罪よ！
これ以上やったら・・・！！



あっ、あん！
あっ、はあん！

夕夏めいちゃくちや
感度いよなあ。

そ、そんなことない！
感じてなんか！

ずっぽっぽっ
ずっぽっぽっ

ずっぽっぽっ
ずっぽっぽっ

こんなあっさり感じちゃって
彼氏に申し訳なくないわけ？

気持ちよくなんか
ないー！




男は夕夏に四つん這いになるように要求した。

夕夏はもはや抵抗する気力もないらしく、男に言われるがままはしたないポーズをする。

夕夏のおまんこからは、精液と愛液がミックスされた粘ついた体液が零れ落ちる。





男の電話から間もなくして、数人の男たちが家に押し掛けてきた。男たちはすぐさま服を脱ぎ、夕夏を取り囲んだ。

夕夏は男たちの勝手な言葉に怒りの表情を見せるも、もはや抵抗する様子は見せなかった。

同棲中の彼女がヤリサーの男に寝取られた件 尾崎夕夏
～サンプル版・完～

ネトラレ少女の続きは本編をご覧ください。